

2026年度
一般推薦（造形学部）
小論文（100点90分）

・次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

静岡県静岡市の各地には、プラスチックモデルキット（以降、プラモデル）のような「プラモニュメント」が設置されている（図1）。これらは、JR 静岡駅コンコース内の電話ボックス（図2）や静岡市役所静岡庁舎前の郵便ポスト（図3）など、まちなかにあるものが組み立て前のプラモデルに見えるよう表現されている。静岡市と博報堂ケトルなどの民間企業との連携により 2020 年に打ち出された「静岡市プラモデル化計画」の一環として設置された。

静岡市を中心とする静岡中部地域は、歴史的に多くの職人が居住しており木工業が盛んであった。1932 年にその技術を活かした木製模型の製造が始まり、1960 年代になると木製模型はプラスチックを素材にしたプラモデルへ転換し、現在も模型の製造は引き継がれている。この地域産業の特徴を捉えた「静岡市プラモデル化計画」は、まちの賑わいや地域への愛着を育む地方創生プロジェクトとして、関心・体験・波及の3つの柱でプラモデルに関わる機会の創出を目的としている。また、「プラモニュメント」のほかに、「ものづくりキャリア教育」や「プラモデル大学」などの事業を行っている。

以上のことを踏まえた上で、このデザインを行なった企業はどのようなことを意図してこの「プラモニュメント」を考案し、設置したと考えますか。各図をよく見て、あなたの考えを 800 字以上、1,000 字以内で述べてください。

参考資料：

静岡市プラモデル化計画ウェブサイト <https://www.hobby-shizuoka.jp/city/model/>

静岡市「ホビーのまち静岡」推進事業ウェブサイト

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2746/s005063.html>

図版：図1 上記資料を参照し出題者作成

図2・3 出題者撮影

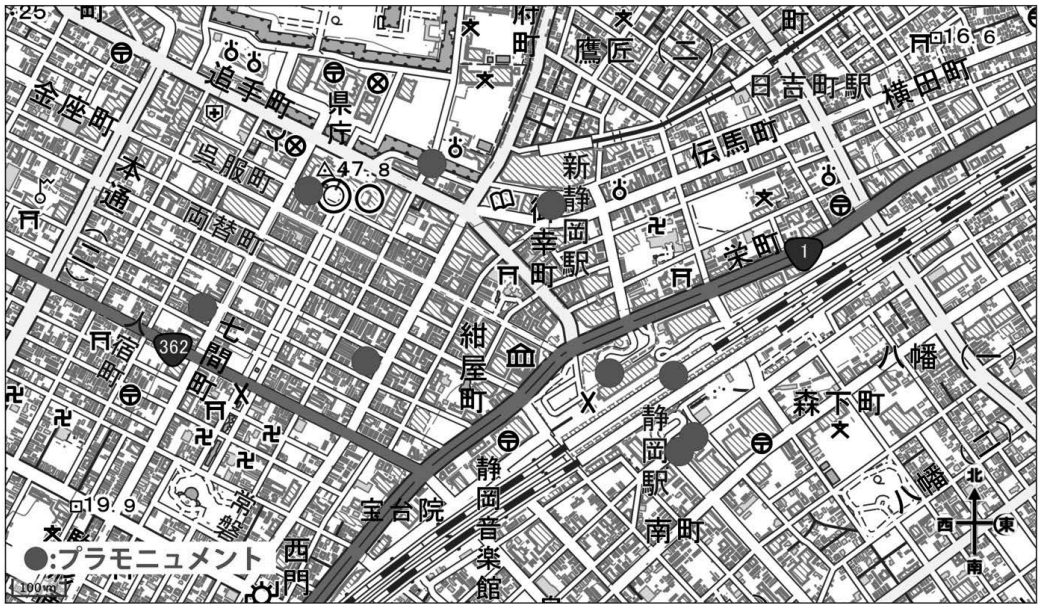


図1 JR静岡駅周辺のプラモニュメント設置位置（国土地理院地図を加工して作成）



図2 JR静岡駅コンコースのプラモニュメント



図3 静岡市役所静岡庁舎前のプラモニュメント